

4月12日(金)

## あたらしい、あたりまえ

自分の顔をよく見て描こう。髪は、歯は、どんなふうに生えているのかな。目の横にはほくろがある。鼻ってすごく大きいんだね。当たり前と思っていた自分の顔も、よく見ると新しい発見があるね。「あたらしいあたりまえ」になるね。



顔を塗る時に  
使いやすい色  
(パールオレンジ、うすだい  
だいと呼ばれる)は  
封印。自分の顔の色合いも  
自分で考えて、色を重ねて  
つくり出してみよう。

「おまつりごっこ」から発展して、物の売買に欠かせない紙幣に興味があった、そらぐみのみんな。紙幣を模写して、その美しさと緻密さに驚いたりワクワクしたり。筆を持ちながらも話が弾みました。



自分の顔をよく見て描く「自画像」は紙幣を模写した時とはまた異なる捉え方で、こどもたちは描いています。表面的な姿だけでなく「自分とは」(と、哲学的な)根源の在り方を探りながら一人ひとりが集中して取り組む活動になっています。

絵は自由に描く!!が一番大切。  
「じょうずに似せて描く」という視点ではなく(そもそも絵は観る人の好みによって感じ方が異なるので)真剣に絵を描く時間を保障し、継続することでこどもたちは自分自身の考え方や物事の捉え方、物差しを創り上げていくのではないのでしょうか?

